

2011年度 日本文化人類学会

第3回 理事会 議事録

日時：2011年5月29日(日) 14:00~17:30

会場：東京外国語大学・本郷サテライト 7階会議室

出席者：渡邊(欣)、綾部、太田、小田、葛野、栗田、栗本、桑山、関根、高倉、棚橋、
玉置、中川、名和、森山、渡辺(公)

委任状提出：岡田、鏡味、佐々木、清水、中谷、三尾

議題

〔承認事項〕

1. 2011年度第2回理事会議事録を承認。
2. 新入会員(16名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
3. 日本学術会議第一部国際協力委員会主催シンポジウム(6月18日開催、於日本学術会議講堂)について後援依頼があり、総務会で検討の上後援を承認したことを報告の上で事後承認。

〔報告事項〕

1. 会長報告
 - ・名誉会員に第45回研究大会への招待状を発送し、15名中8名の名誉会員から出席する旨返信があったことを報告。
2. 庶務理事報告
 - ・大学評価・学位授与機構からの依頼を受けて、機関別認証評価専門委員候補者について情報提供を行ったことに対し、同機構から連絡があったことを報告。
 - ・学会監修で刊行された『フィールドワーカーズ・ハンドブック』について、山本真鳥前会長より理事会に対し10冊を寄贈したい旨の申し出があったことを報告。
 - ・昨年度の総会後に逝去された会員について報告。
3. 会計理事報告
 - ・2010年度決算について、2011年5月9日に第24期監事の小川正恭、田中真砂子両氏による監査が実施されたことを報告。
4. 広報理事報告
 - ・地区研究懇談会修士論文発表会の発表要旨の学会ホームページへの掲載について、現在一部の地区・年度のみ掲載となっているが、1999年度理事会で、発表要旨の学会ホームページへの掲載については審議済みであることを報告。未掲載の発表要旨については、希望があれば、担当理事が発表者に承諾を取った上で、学会ホームページに掲載することが可能であることを確認した。なお、今年度以降の修士論文発表会の発表要旨については、学会ホームページへの掲載について発表者の承諾を得た上で、新たに開設する予定の各地区研究懇談会のホームページ上に掲載する方向で検討中であることを報告。
 - ・前回理事会で提案のあった、国立情報学研究所が運営する電子図書館サービス(CiNii)に掲載されている学会誌の閲覧無料化について、国立情報学研究所に確認したところ、申し合わせ改訂の時期(例年3月頃)以外の変更は不可能であることが判明したことを報告。学会予算との関係もあるため、閲覧無料化については、引き続き検討を行うこととした。
 - ・人類学関連学会協議会の合同シンポジウム「島・離島の生態をめぐって」(2011年11月3日、於那覇)に関し、本学会からは棚橋会員を報告者として推薦したことを報告。
 - ・WCAAより連絡用の新メーリング・リストの立ち上げについて連絡があり、会長及び総務会理事をリストに登録したことを報告。
 - ・「東日本大震災による被災会員の会費納入について」をJASCA-INFOで配信したことを報告。
 - ・日本学術会議による「東日本大震災に対応する緊急提言の発出(お知らせ)」、および震災に関連す

- るニューズメールを総務会承認の上、それぞれ JASCA-INFO で配信したことを事後報告。
 - ・文部科学省より通知のあった「被災地で実施される調査・研究について」を、JASCA-INFO で配信したことを事後報告。
 - ・本学会が後援する日本学術会議主催学術フォーラム「アジア・太平洋地域におけるトランスナショナルリズムの展開」、日本学術会議主催学術フォーラム「災害・復興と男女共同参画」、日本学術会議主催公開シンポジウム「若手研究者の考える、震災後の未来」の案内を総務会承認の上、それぞれ JASCA-INFO で配信したことを事後報告。
5. 各種委員会報告
- ・『文化人類学』編集委員会：76 巻 1 号、76 巻 2 号の進捗状況を報告。
 - ・JRCA 編集委員会：Vol.12 の刊行に向けた準備状況を報告。
 - ・民博連携委員会：欠席の岡田理事に代わり、綾部理事より報告があった。国立民族学博物館との話し合いにおいて、事業計画案に記載されているデータベース事業については、国立民族学博物館がシステムを構築したという経緯から、本学会が提案したように事業計画から削除するのは適当でないこと、「人類学者・民族学者」映像記録の国立民族学博物館における公開については、引き続き検討していくこと、東日本大震災に関連する対応については、事業計画の枠内で連携していくこと等が確認された。
 - ・地区研究懇談会担当委員：各地区の研究会開催状況、開催予定を報告。
6. 第 45 回研究大会の準備状況
- ・法政大学より後援依頼のあった研究大会前日のシンポジウムが「日本文化人類学会第 45 回研究大会記念シンポジウム」という名称となったことを報告。

【審議事項】

1. 日本文化人類学会の災害対応方針について
 - ・渡邊会長より、配付資料に基づき本学会の災害対応方針について説明があり、審議の結果、本学会の東日本大震災への対応に関する具体的な施策と今後の検討課題をまとめた文書を改めて作成し、理事会メール・リストを通じて再確認の後、評議員会および総会で報告することとした。
2. 被災会員の特例措置について
 - ・森山理事より、東日本大震災の被災会員への会費減免措置について、前回理事会での審議を受けて修正された部分についての説明があり、これを評議員会に提案することが承認された。
3. 2010 年度決算・2011 年度予算（案）について
 - ・森山理事より、資料に基づき 2010 年度決算・2011 年度予算(案)について説明があり、次回理事会で最終確認の上、評議員会に提案することが確認された。学会収入の減少を補うために、寄付を募る、学会誌の年間発行冊数を削減する等の提案があったが、今年度はこれらの措置の導入を見送ることとし、今後必要に応じて検討することとした。
4. 2010 年度事業報告・2011 年度事業計画（案）について
 - ・綾部理事より、2010 年度事業報告・2011 年度事業計画（案）について、前回理事会からの変更点を中心に説明があり、文言調整を行った後、次回理事会で最終確認の上、評議員会に提案することが確認された。
5. 課題研究懇談会の設置について
 - ・関根理事より、配布資料に基づき前回理事会からの変更点を中心に説明があり、審議の結果、これを評議員会に提案することが承認された。
6. 2011 年度若手支援策（案）について
 - ・欠席の鏡味理事に代わり、綾部理事より、配布資料に基づき前回理事会からの変更点を中心に説明があり、審議の結果、セミナーのタイトルを再調整した上で、評議員会に提案することが承認された。
7. 研究大会発表要旨集の著作権について
 - ・栗田理事より、J-STAGE で公開されている過去の研究大会発表要旨集の著作権の表記について、著作権が著者にあることを表記するよう変更依頼中であることが報告された。これに関連して、来年度以降は、発表申し込み時に学会への著作権委譲を承諾してもらう方向で検討中であることが報告され、この方針が承認された。

以上